

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

キッズボンド海津

調査期間：2023年 12月～2024年 1月 回答職員数： 9名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	0	怪我防止の為、最低限のものしか置かないようにしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	9	0	人員配置に基づき設置している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	3	段差があるところがあるため、つまづいてしまう可能性がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	0	毎日の掃除を心がけ、清潔な空間を保てるようにしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9	0	職員間で話し合いを行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0	いただいた意見は職員間で共有し、業務改善を図っている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	0	ホームページで公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	4	相談支援専門員の意見を取り入れて改善を企てている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0	適宜、研修を実施して支援の質の向上を図っている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9	0	アセスメントツールを使い、その後SVを経て支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	0	Vineland- II を用いてアセスメントを行っている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	0	Vineland- II を使用して、具体的な支援内容を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	0	支援計画に沿った支援をしている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	職員間で意見を出し合い行う。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0	固定化しないように工夫している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	9	0	子ども主体で取り組めるように計画している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	2	受け入れ前ミーティングを必ず実施するようにしている。

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	0	支援後に話し合いを行い、それに基づいて支援内容を考えていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	日々の記録は必ず取り、支援の向上に繋がるようにしている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	原則、半年に1度モニタリングを行っている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	0	担当者会議が開催される時は、参加して情報の共有をしている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9	0	必要に応じて連携を図っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			対象児童なし。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			対象児童なし。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	0	関係機関連携を行い、相互理解を深めている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	0	関係機関連携を行い、相互理解を深めている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	9	機会があったら連携を行いたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	6	交流会を企画できるよう職員間で話し合いを行いたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	9	0	自立支援協議会が機能していない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	細かなことでも連絡をし、子どもの状況の共通理解をもつようにしている。
	保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6	3
32		運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0	契約時に口頭で説明をしている。
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9	0	支援計画と一緒に確認することで同意を得ている。
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	ささいなことでも相談していただくように保護者に周知している。
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	0	好評なご意見をいただいたので今後も開催したい。

	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	職員間で、情報共有をし対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0	「キッズbond通信」・「活動予定表」を配布し周知している。また FB でも活動の様子を報告している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	0	書類は、鍵付きの書庫に保管している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	保護者との情報共有ツールとして LINE を使用している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	5	今後、計画していきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9	0	マニュアルを作成して、周知している。訓練も定期的に行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	毎月、避難訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9	0	契約時に確認を行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	0	アレルギーの対応方法を掲示してある。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	キッズbondグループで共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	資質向上のため定期的な研修を行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9	0	運営規程に記載し、契約時にも説明を行い、了承を得ている。